

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第61号	
事故等種類	火災	
発生日時	平成22年2月18日 09時00分ごろ（日本標準時刻）	
発生場所	西アフリカのカーボヴェルデ共和国沖 （概位 北緯14°57.0′ 西経020°55.0′）	
事故等調査の経過	平成22年4月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第六十八幸 ^{こうりょう} 漁丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	134414、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	GPSプロッターなど航海機器の電源用整流器が焼損し、両機器及びこれらに取り付けられていた操舵室の海図台周辺が類焼	
事故等の経過	<p>本船は、大西洋で操業を続けたのち、基地としているスペイン王国領カナリア諸島のラスパルマス港に向けて帰航中、平成22年2月18日09時00分ごろ（日本標準時刻）、操舵室後方の海図台近くで火災が発生した。</p> <p>当直中の船長は、海図台の上や壁に取り付けられていた航海機器が燃えているのに気づき、自身が着用していた衣服で炎を振り払い、さらに、通信長が持参した持ち運び式粉末消火器を使用し、火災は発生10分後に鎮火した。</p> <p>本船は、航海機器の一部の電源を失ったことから、GPSプロッター、オートパイロット及び無線機を使用できない状態で自力航行を続けラスパルマスに入港した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1 海象：穏やか、波高 約0.5m	
その他の事項	配電盤上に、漏電や電路の短絡を表示する警報装置はなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし なし <p>本船は、西アフリカのカーボヴェルデ共和国沖をカナリア諸島のラスパルマス港に向けて帰航中、航海機器電源用整流器内部の電気部品（トランス、ダイオード、基板など）が、過熱したものと考えられる。</p> <p>本船は、整流器が焼損したことから、GPSプロッター及びSSB無線機などの内部に組み込まれていた電機部品も、過熱して焼損したものと考えられる。</p>

原因	本事故は、本船が、西アフリカのカーボヴェルデ共和国沖をラスパルマス港に向けて帰航中、GPSプロッターなどの航海機器電源用整流器内部の電気部品が過熱したため、整流器や航海機器の本体が発火し、海図台周辺が火災となったことにより発生したものと考えられる。
----	--